

第2回 福岡トライアスロン

(福岡県福岡市)

報 告

日 時：2019年6月30日(日)

スタート：8時00分

参加者数：750人

距 離：変則スタンダードディスタンス 55.5 km

結 果：総合4位

総合タイム 2時間 18分 48秒

スイム 1.5km 26分 36秒 () ・バイク 44km 1時間 15分 07秒 () ・ラン 10km 37分 05秒

() ※ () 内はカテゴリー順位

駆け出しのころから声をかけてくれていた今大会長のお誘いで友情初出場。福岡にはスタンダードトライアスロンがなかった。トライアスロンを知らない関係者(経済界)が発起人として立ち上げた大会になる。実行委員会の中にはトライアスロンをするものが二人しかいないらしい。そんな組織だから逆に定説的なものがなく将来性を期待もできる。

選手として、プレゼンターとして、経歴も面白く注目選手としてテレビもついてくれた。丁度2週間前のレースで肋骨損傷し、その前2週間は体調を崩し風邪。小さなことではあるが日常でトレーニングを積みにくい環境にしてしまった。

できることを見つけるアンテナを張って過ごす。なかなか苦しいものだったが希望を捨てなかった。今シーズン(年齢が進むにつれ)ランが走れなくなっている。もどかしく葛藤の日々が続く。そうした中でも、ランで颯爽と駆け抜け大逆転や奇跡的なレースが出来ていた自分は、やはりランが走れるようになりたい。そこへの追求は終わることはないのだと思う。

タイムが若い時のように速くなることはないだろう。それ以外の成長、伸び代はたくさんある。何とかしたい…その想いはいつもある。

そうした中である理学療法士が協力してくれ、筋力ではなく、骨格で動くことを身に着ける動きがあり、それを素直に受け入れだしてきた。かっこよく筋肉で走る…を捨てていくのだ。らしさをなくすのでは…

まずは結果(形)を出してから考えよう。その形が出来たらまた振り返り応用を利かせ求める形へ出来るのではないかと思った。

持ち上げて走るとは逆のおろして走る…意味が分からないと思うが、志事や経営にも見た目は同じに見えて実はアプローチは真逆で攻めてみることはあるだろう。それが功を奏すことはよくあるのだが、そのトレードオフの決断と勇気が持てるかどうかだろう。

あきらめないことが私の信条だが、「あきらめないために、あきらめること…」これも人生と同じように必要なのだと確信できたこの2週間だった。

ランで離されていた学生や選手たちを抜きながら声をかけ背中を見せる。これも私の使命だと思うから。

「勝つことより負けぬこと…」私の師匠がよく口にする。

そのために変えてはいけないところと、変えていくところを統制しながら進んでいきたい。トライアスロンを仕事にしながら人生を学ぶことが多い。

今週はまた大きなトライアスロンレースが高松市である。梅雨時期の7月前半はなかなか苦しいレースを覚悟するが、その中でまた、心を見つけていきたいと思う。支えてくださるすべての皆様へ感謝する。

トライアスリート 福元テツロー



